

施策評価調書

施策名	4-2-1	町内産業の活性化		施策を取り巻く環境変化	世界不況の影響を受け、下請け・孫請けの業態である町内中小企業者は、受注の減に伴い、売り上げや利益率の減少が顕著に現れてきています。中小企業者の資金繰りのため、町中小企業融資振興資金の利用が、急激に増えてきました。
		地域経営計画(後期計画) 該当ページ	P. 53		
担当部課	建設産業部 産業課	担当	商工業 担当		
		リーダー	石川 正佳		

1. 住民意識調査結果

21年度(10月実施)		25年度(※実施予定)		26年度(※実施予定)	
満足度	-31.2% 第36位/全36項目(町内経済の活性化)	満足度	第 位/全 施策	満足度	第 位/全 施策
優先度	67.1% 第11位/全36項目(町内経済の活性化)	優先度	第 位/全 施策	優先度	第 位/全 施策

満足度:「満足である」、「どちらかと言えば満足である」を合計した割合から、「どちらかと言えば不満である」、「不満である」を合計した割合を差し引いたもの

優先度:「優先すべき」、「やや優先すべき」を合計した割合から、「あまり優先しなくてよい」、「優先しなくてよい」を合計した割合を差し引いたもの

2. 施策の目標

指標	基準値	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
指標1:法人町民税納税義務者数:(者)	22年度実績 533者	計画	543者	553者	563者	573者	583者
指標2:		計画					
		実績					
指標3:		計画					
		実績					
指標4:		計画					
		実績					
指標5:		計画					
		実績					
指標に関する特記事項							

進捗状況の区分 ↑:目標以上の成果があった →:目標どりの成果があった ↓:目標に至らなかった △:遅延・未着手等 ×:見直し・廃止等

3. 施策に係る経費

事業費(傘下事務事業費計)の推移【単位:千円】 (※総事業費)	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
		当初	288,397			
	決算					

4. 施策傘下事務事業 ※別紙のとおり

5. 施策評価

	後期計画における施策展開のビジョン	H23年度の狙い
自己評価(部)	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会機能の充実により、経営指導を強化して、事業所の経営安定を図ります。 ・体力の弱い中小企業に、適切な資金計画による制度資金の活用を促進し、倒産の防止に努めます。 ・経済懇話会を核とした、会員のネットワークにより、生産から消費まで結びつけた、異業種交流の促進を図ります。 ・中小企業の元気を取り戻すための具体的な方策(中小企業振興基本条例、表彰制度など)を、関係機関と協議しながら検討します。また、町内企業の事業や経営内容を広く町民の皆さんに知ってもらうため、そして、企業間のネットワークや技術等を向上させるために、企業から提供された情報を行政がとりまとめて、情報を発信していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・不況の影響を乗り切るため、円滑な資金の融資と活用により、中小企業者の経営安定を図ります。 ・経済懇話会の活動を活性化し、農・商・工でビジネスに結びつく、技術開発支援事業等により、具体的な事項を打ち出して行きます。 ・中小企業の元気を取り戻すための具体的な方策(中小企業振興基本条例、表彰制度など)について、関係機関との協議を進めます。
総合評価(町長)	<p style="text-align: center;">総合評価</p> <p>現下の社会情勢や経済状況を勘案し、町内の経済を支えているの小規模の企業の支援を行っていくことを評価する。ただし、行政だけの支援だけでなく、経営者の認識や努力も必要であるので、関係機関と連携しながら、小規模や零細企業を、光輝く中小企業へと転換させるべく支援体制を整えることが大事だと考える。また、商工会機能の充実による中小企業の経営安定化、経済懇話会のネットワークを利用した情報収集など、消費者と農・工・商業者の連携による活性化事業の促進を継続して行うことで、町として行うべき支援を見極めながら、より選択と集中が図られた施策展開を行っていくこと。</p>	